

を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します

▼海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を強化します

▼高山市で生産される農林・畜産品、さらにはそれらを使用した飛騨高山の和食文化の市場をトップセールスで開拓します

▼地産地消が体験できる拠点空間（施設）の整備に努めます

●まちづくり産業の振興

▼建築・土木業、運輸・流通業、環境や情報関連業などをはじめとした、まちづくりに関わる業界の皆様と協働で、市民が安全・安心・便利に暮らせるまちづくりを進めます

▼まちづくりに関わる事業においては、地元企業への発注を優先的に進め、資本の市内循環と市内雇用の増加を目指します

▼第一次産業などの異種業種との連携による新たな産業創出や、エネルギー関連分野への進出を目指す企業・業界を支援します

環境対策

自然エネルギー、生活環境、福祉環境の整備を進め、住みやすいまちを創ります

●日本の自然エネルギー

活用都市を目指して

▼高山市の保有する森林資源、自然資源（太陽、水、温泉、雪、風、ほか）などを活

用し、原子力エネルギーに頼らない、日本一の自然エネルギー活用都市（飛騨高山モデル）を目指します

▼家庭・事業所・施設などにおける自然エネルギー設備の導入を支援します

▼新たに整備される公共施設などを活用して、自然エネルギー活用モデルエリアを整備します

▼経済団体や各種業界の皆様と協働しながら、自然エネルギーに関わる企業や地域リーダーの育成に努めます

●安心して暮らせる環境づくり

▼協働のまちづくりにより地域共助を強化し、地域全体で子どもや高齢者、子育て世帯、介護世帯、障がい児（者）などを支えられる地域環境の整備を進めます

▼社会福祉の充実を目指し、サポーターやボランティアの育成、潜在的保育士・看護師（結婚などで家庭に入っている有資格者）の登録制度などを進めます

▼国や県の福祉施策を有効に活用できるように、アドバイスや申請手続きなどをお手伝いする担当窓口を設置します

▼健康診断の受診率の向上を目指した取り組みや地域医療の高度化・充実を目指した取り組みを積極的に進めます

●安全に暮らせる環境づくり

▼市内の業界・企業の皆様と協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー（道路・上下水道・情報などをはじめとした都市の基盤となる施設）、各種公共施設の整備を進めます

▼自然災害などの発生時に地域や避難所のリーダーとなる市民防災リーダーの育成に努めます

▼市役所と市民の皆様とで、双方向に災害情報などを共有できるシステム（ツイッターやフェイスブック）を構築します

▼緊急時に利用される避難所などにおいては、太陽光発電設備などの整備を進めます

●便利に暮らせる環境づくり

▼CATV（ケーブルテレビ）の普及促進、Wi-Fi環境や公衆無線LANの整備・充実を進め、誰もが情報や行政サービスを気軽に得ることができ環境を構築します

▼路線バス、自主運行バス（まちなみバス、のらマイカー）などの運行形態を見直し、市民の足の確保に努めます

▼誰もが気軽に遠くに出かけられたり、訪れやすくするために、JR高山本線、北陸新幹線、高速バスなどの広域公共交通網と市内公共交通網のネットワークを充実します

文化振興

人間力の向上を目指した取り組みを進め、市民が主役の自立したまちを創ります

●市民が主役のまちづくり

▼子どもからお年寄りまでの全ての市民の皆様が、社会活動やまちづくりに参加できる機会を提供し、刺激といきがいに満ちた暮らしの中で、人間力が向上できる取り

組みを進めます

▼市民が主役のまちづくりにおいては、高齢者世代（65歳以上）という呼称を「生涯現役世代」という呼び方に改革し、さまざまな活躍の場を提供します

▼多様化する市民ニーズや地域課題を、地域が一体となって対応できるように協働のまちづくりシステムを構築します

▼市民が主役で参加する「飛騨高山文化芸術祭」を継続します

▼本市の発展の基礎となる「平和」の重要性を改めて認識する機会を充実し、平和に関する意識の高揚を図ります

●多彩な教育環境が整ったまちづくり

▼高山市と協定を結んでいる大学などとの連携を強化しながら、希望する誰もが、高山市で大学の授業が受けられるサテライトキャンパスの設置に取り組みます

また、将来的には、遊休施設などを活用した大学誘致を目指します

▼高山市の次代を担う子どもたち（児童生徒）に対しては、一人ひとりの「個性・能力・創造性」を育むとともに、国際化に対応できる教育環境を整備します

▼日常生活における潤いやいきがいの創出に繋がる生涯学習の充実を努めます

▼高地トレーニングエリアの整備も含め、市民の皆様が心身ともに健やかに暮らせるようにスポーツ文化の振興に努めます